

2 フェイスシート

日常生活のこと

記入日: 年 月 日 学年 年齢 歳

動 作					場所・補助具・介助状況など					
床上	寝返り	自立	何かにつかまれば可	できない	電動ベット 有・無 エアーマットの使用 有・無					
	起き上がり	自立	何かにつかまれば可	できない						
	座位保持	自立	自分で支えれば可・支えが必要	できない						
	立位保持	自立	支えが必要	できない						
	移乗	自立	見守り・一部介助	できない						
移動	屋内	自立	見守り	一部介助	全介助	補装具の使用 (杖・短下肢装具・歩行器・車椅子・そのほか・無)				
	屋外	自立	見守り	一部介助	全介助					
入浴	浴槽出入り	自立	見守り	一部介助	全介助	留意点				
	洗体	自立	見守り	一部介助	全介助					
	洗髪	自立	見守り	一部介助	全介助					
	方法	一般浴槽	機械浴槽	リフター	シャワー				清拭	他
	頻度	毎日	他	月・火・水・木・金・土・日						
排泄	排尿	自立	見守り	一部介助	全介助	回数: 1日 回	尿意: 有・時々・無	伝達: 可・不可		
	排便	自立	見守り	一部介助	全介助	回数: 日に1回	便意: 有・時々・無	伝達: 可・不可		
	方法	便所	ポータブルトイレ	尿器	オムツ	ハルーンカテーテル	ストマ	失禁: 無・時々・常時	便通: 普通・便秘・下痢	
	時間誘導	不要	要	時間						
	具体方法									
生理	自立	見守り	一部介助	全介助						
食事	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	食事回数: 回	食欲: 旺盛・普通・無			
	飲水	自立	見守り	一部介助	全介助	アレルギー 無 有 ()				
	嚥下	自立	見守り			服薬 薬の飲ませ方				
	食事形態	普通	一口大	粗刻み	極刻み	ミキサー	注入	その他 医療的ケア		
	食事内容	常食	特別食 ()			※記入しきれない場合は〈MEMO〉を使って記入するか、添付で資料をつけてください。				
	使用器具	箸	フォーク	スプーン	手づかみ	自助具	有・無			
清潔	口腔清潔	自立	見守り	一部介助	全介助					
	洗顔	自立	見守り	一部介助	全介助					
	整髪	自立	見守り	一部介助	全介助					
	爪ぎり	自立	見守り	一部介助	全介助					
着脱	上着	自立	見守り	一部介助	全介助					
	スボン等	自立	見守り	一部介助	全介助					
日常生活	洗濯	自立	一部介助	全介助						
	掃除	自立	一部介助	全介助						
	整理整頓	自立	一部介助	全介助						
	電話の利用	自立	一部介助	全介助						
	買い物	自立	一部介助	全介助						
	調理	自立	一部介助	全介助						
	金銭管理	自立	一部介助	全介助						

A series of horizontal dashed lines for writing, filling the majority of the page.

2 フェイスシート

記入日： 年 月 日 学年 年齢 歳

趣味 好きな こと		
性格		
得意な こと		
苦手な こと		
コミュニ ケーション 手段	本人から相手に伝えるとき	
	<input type="checkbox"/> ことば (ある程度の文章で話せる)	具体的なやりとり例
	<input type="checkbox"/> ことば (単語)	
	<input type="checkbox"/> ジェスチャー 手話 など	
	<input type="checkbox"/> 写真/絵カード/文字盤 など	
	相手(支援者)が本人に伝えるとき	
	<input type="checkbox"/> ことば (ある程度の文章で話せる)	具体的なやりとり例
	<input type="checkbox"/> ことば (単語)	
	<input type="checkbox"/> ジェスチャー 手話 など	
	<input type="checkbox"/> 写真/絵カード/文字盤 など	
友達とのやりとり・関わり方		

配慮事項	
身体面 医療面	<input type="checkbox"/> 特になし
	<input type="checkbox"/> てんかんの有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入）
	<input type="checkbox"/> 発作の有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入）
行動面	<input type="checkbox"/> 特になし
	混乱・かんしゃく・パニックの原因になりやすいこと
	表現・行動（どのような傾向があるか）
	対処方法
	予防の方法



Q. 子どもの発達に不安があるときはどこに相談すればいいですか？

A. 青葉区福祉保健センターの専門職（保健師や保育士等）や地域療育センターあおばなどで相談することができます。詳しくは資料1をご覧ください。

Q. 障害のある子どもが放課後に安心して過ごせる場所がありますか？

A. 小学生以上であれば、放課後等デイサービスという児童福祉法に基づく制度を利用することができます。詳しくは資料2をご覧ください。